



# なかよし

第2号

令和6（2024）年6月6日発行

園長 リチャードソン一枝

新しいクラスがスタートして1ヶ月がたちました。幼稚園の生活や新しいクラスに少しずつ慣れて、年中の教室も年長の教室も、元気な声とたくさんの笑顔であふれています。

年中ひつじ組のお友達は、しっかりとマットに座り澤崎先生のお話を聞くことができます。授業には、当日の主なトピックだけでなく、色や数字に関することが様々な形でちりばめられていてたくさんの小さな学びがあふれています。

年長さくら組の教室では、先生との会話だけでなく、制作活動しながら友達同士会話を楽しんでいる場面がよくあります。年中さん年齢より一歩進んだコミュニケーションの様子です。家庭内だけでなく友達と日本語でコミュニケーションをとることが楽しめるようになると、日本語への興味や学習への意欲がぐんと湧いてくるはずです。

そして、休み時間には寒さにも負けず、全員が元気に走り回っています。“遊び”は、社会性を身につける大切な場です。「あ～幼稚園楽しかったな」という声がきこえたら、『今日は何をしたの?』と幼稚園での出来事を聞いて、ご家庭でも日本語でたくさんお話をして下さい。

## 避難訓練

5月25日は地震の避難訓練を行いました。

園児への指導は

- 地震がきたら、床に伏すか机の下に入り、頭を保護する
- 揺れがおさまったら、先生のリードで避難する
- 「おはしも」  
お…おさない  
は…はしらない  
し…しゃべらない  
も…もどらない

ご家庭でも子ども達と話をし、万が一の場合の対応や避難の方法について理解を深めて下さい。

## 6月・7月の予定

- 6/8 時の記念日
- 6/29 カンタベリー補習授業校  
年次報告会(詳細は後日)
- 7/6 セタ集会
- 7/6 1学期 終業式
- 7/27 2学期 始業式

## 時間割

- 1 時間目 09:45～10:30
- 休み時間 10:30～10:45
- 2 時間目 10:45～11:25
- 集会 11:25～11:35  
毎週、ホールにて降園

## お願い

①始業時間9時45分に授業が始められるよう、余裕をもって登園しましょう。

②欠席は、必ず担任か事務所に知らせてください。(授業日当日の欠席連絡は事務局まで [03-348-9512](tel:03-348-9512)

[office.cjss@gmail.com](mailto:office.cjss@gmail.com))

事務局 相山かおり 前川絢菜

## 保護者委員

- 年長 石光真紀さん 松本絵里さん  
小山知子さん
- 年中 松尾奈緒子さん 岩田安奈さん  
山口麻衣さん (1学期後半)

\*1年間よろしくお祈りします!



### 年中ひつじ組 澤崎美江先生

自分の名前を探して出席シールを貼り、名札をつけ、提出物を出す。そしてマットに集まって授業開始を待つことが出来るようになりました。

#### マットタイムの5つのルール

- ① 手を組む
- ② 足を組む
- ③ 目は先生の方を見る
- ④ 耳は先生のお話を聞く
- ⑤ お口はチャック

日本語で発言する回数は各々違ってても その場にきちんと参加することが出来るように努力をしています。

1学期もターニングポイントにきました。日本語で説明を聞き理解し、ものづくりを楽しむことを目的とした制作活動では 上手に指先をつかって作品を作ることが出来ました。その集中力には驚かされます。各自個性を活かした素敵な作品に仕上がりました。



### 年長さくら組 檜山美穂先生

年長さんになり、いよいよひらがなの書き練習が始まりました。「もうかけるよ」という声が聞こえる中、「もっともっと上手にかけるように練習をしていこう!」と、形に気を付けて平仮名を描く練習をしています。

「とん」と書き始めはしっかりとはいり、形を良く見ながら、最後の「はらい」「はね」「とめ」がきちんとできるように何度も練習をします。また、書き順を意識するために、1画目赤、2画目青とクレヨンを持ち替えて練習していきます。ご家庭でも「お母さん花丸」や「お父さん花丸」でたくさん褒めてあげてください。

ひらがなノートに貼られていくプリントには、その学習や上達の記録が積み重なっていきます。「しゅうかん読書ノート」には本の感想が加わるようになるかもしれません。1年後に見返したときに、その上達ぶりに驚くはずですよ。



#### 6月4日虫歯予防デー

歯や歯磨きの大切さのお話の後、「歯をみがこう」のポスターを作りました。  
 白い歯に虫歯がいたり、ニコニコかばさんや泣いているかばさんがいたり、長い髪や短い髪のお友達など、個性豊かな作品が出来上がりました。  
 はさみやのりを使うことを通して、指先をたくさん使いました。それは、字を上手に書くための筆圧を得ることもつながります。